

工業部会通信

(発行) かながわ経済新聞合同会社
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3
商工会館本館1階
※印刷してご自由にお読みください。

かながわ経済新聞 KANA KEI

通常総会懇親会を開催 青工研、今年度体制で決意新た

年間テーマ 「感謝の気持ちを持って」 本村市長ら94人出席

相模原市青年工業経営研究会（青工研）は16日、ホテルラポール千寿閣で「第40回通常総会懇親会」を開催した。同懇親会は例年、通常総会が開かれる4月に開催されるものの、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今回に延期した。今年度の山口友彦会長（清水原コーポレーション社長）は、関係者を前に抱負を語った。



抱負を語る山口会長



会場内の様子

副部長コラム 「工業よもやま話」

今回は経営者が知っておくべき「社会システム」についてお話しします。

経営者が知るべき「社会システム」

社会システムとは、憲法です。一読することは必須といえます。日本国憲法は割と平易な条文なので読みやすいです。憲法には、天皇、国会、内閣、司法、基本的人権、教育、国民の権利義務と

とで日本が分かれます。国会は衆議院と参議院の2院制度、行政は議院内閣制、司法は3審制。天皇の国事行為は内閣の助

言と承認が必要。法律はすべて国会で審議し可決・成立します。ちなみに商工会議所も法律に基づいて設置されています。

一方、地方政治は行政長と議員を選ぶ2元制。国家予算は内閣が国会に提出し審議、可決し成立。大権現は株式市場、株式公開会社は投資家に刻

刻と株価がつけられ売買されています。現代史についても明治維新から令和まで何があったのか、流れと個々の事実を知っておく必要が

あると思います。北方領土4島や竹島、尖閣諸島、沖縄……。現代史を理解すれば「今」が分かれます。とはいえ、社会システ

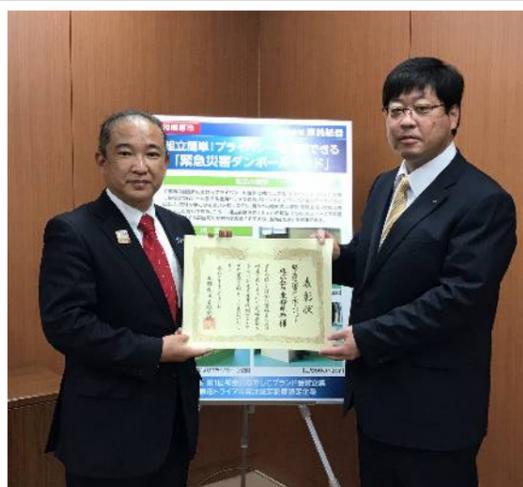
模原商工会議所からの来賓など、計94人が出席した。山口会長は「今の自分があるのは青工研があったからこそ。これからも会員とともに自身・自社の成長に努力していきたい」と抱負を述べた。

今年度の会活動のテーマは「感謝の気持ちを持って」、スローガンは「本気で殻を破れ」と設定。4月以来、コロナ禍により、オンラインを活用し

ながら活動を進めている。現役会員たちは来場者と交流を深め、2021年3月までの残り期間、会活動に全力投球していくと、それぞれが決意を新たにしていた。

（中央区相模原）は、技能継承が課題となっている中小企業に対し、オーダーメイドによる社員教育を受託する事業を始めた。

同社は三菱重工・相模原製作所OBらで構成される企業。設計や金属加工など、技能継承したい分野に応じ、エキスパートたちがオリジナルのカリキュラムを策定し、出張講習する。「1日講師」も可能だ。



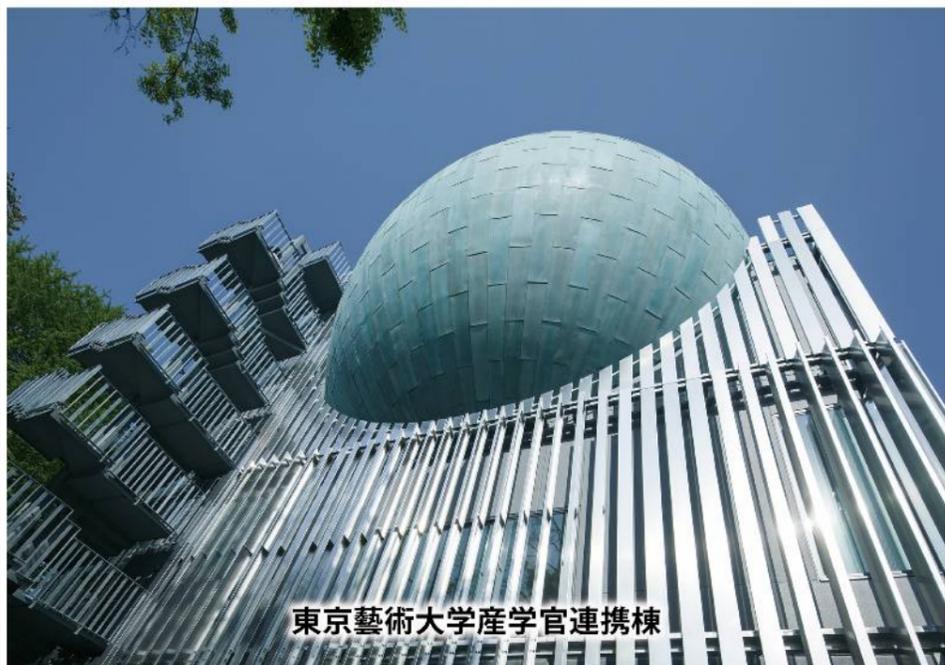
表彰状を手にする同社の鈴木和弥社長（右）

彰する2020年の「九都県市のきらりと光る産業技術」が発表された。相模原市からは東鈴紙器の「緊急災害ダンボールベッド」が選ばれた。同製品は、避難所での使用を想定。有事の際、迅速に組み立てられるよう構造をシンプルにした。ガムテープ（クラフトテープ）1巻があれば、10分で組み立てが可能。それでも150キロの荷重にも耐えられる。脱着可能かついたてなどが付いており、プライバシーも確保できる。すでに2000床以上を販売した。

九都県市 きらりと光る産業技術 東鈴紙器の製品が選定

九都県市（神奈川県・埼玉・千葉、東京都、横浜・川崎・相模原・千葉）を、共通の財産として表

夢をイメージに、イメージを現実に。



東京藝術大学産学官連携棟



谷津建設株式会社

本社/相模原市中央区東淵野辺 4-24-15
TEL.042-752-2038 FAX.042-754-8588
<http://www.yatsu.co.jp/>